

## 後期高齢者医療広域連合と京都府の連携の在り方等 に関する検討会の開催について

### 1. 趣旨

市町村により後期高齢者医療広域連合が設立され、後期高齢者医療制度が施行されてから四年近くが経過したところであり、施行時と比べて同制度も定着しつつあると考えられる。

しかし、高齢者が将来にわたり安心して必要な医療を受けられるようにするため、今後の更なる高齢化の進展を踏まえて、同制度の運営をより安定的なものにする必要がある。

このため、市町村国保の都道府県単位化の動きも見据えつつ、広域的な健康増進対策や医療提供体制の整備を担う都道府県が後期高齢者医療制度において果たすべき役割、後期高齢者医療広域連合と都道府県の連携の在り方等について検討を行う。

### 2. 検討内容

- (1) 後期高齢者医療制度において都道府県が果たすべき役割
- (2) 後期高齢者医療広域連合と都道府県の連携の在り方

### 3. 構成員

別紙のとおり

### 4. 検討スケジュール

月1回程度の検討を経て、年度内を目途に検討内容を取りまとめ予定

第一回 1月19日

- ・ 医療保険制度をめぐる動向と都道府県に期待される役割等について  
講演：慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室 池上直己教授

第二回 2～3月

- ・ 後期高齢者医療制度において都道府県が果たすべき役割について
- ・ 後期高齢者医療広域連合と都道府県の連携の在り方について

第三回 3～4月

- ・ 検討内容の取りまとめ

(別紙)

後期高齢者医療広域連合と京都府の連携の在り方等に関する検討会委員名簿

(五十音順)

委員	団体等	備考
井上 恒男	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授	座長
岡嶋 修司	京都府後期高齢者医療広域連合副広域連合長	
久野 成人	京都私立病院協会副会長	
里村 一成	京都大学大学院医学研究科公衆衛生学准教授	副座長
寸田 武	京都府老人クラブ連合会常務理事	
中島 康雄	京都市保健福祉局長	
中谷 浩三	井手町副町長	
西村 秀夫	京都府医師会理事	
星野 明子	京都府立医科大学大学院保健看護研究科教授	
安岡 良介	京都府歯科医師会副会長	
米田 保	京丹後市副市長	
渡邊 大記	京都府薬剤師会副会長	
浅田 良純	京都府健康福祉部長	

## 京都府議会(平成 23 年度6月定例会)における山田知事答弁

### 【質問者】

高齢者が安心して医療を受けるためには、医療保険制度の充実も重要な問題と考えるが、国においては、「高齢者医療制度改革会議」で議論され、昨年 12 月に新しい高齢者医療制度の案が取りまとめられたものの、法案の提出には至っていないのが現状である。知事は、全国知事会で新しい高齢者医療制度を検討するプロジェクトチームに加わっていたが、この国の案について、所見を伺いたい。

また、高齢化が進む中で、特に、75 歳以上の高齢者が健康を維持し、安心して適切な医療を受けられる制度の構築は待ったなしの課題であり、現在、高齢者の医療保険制度を運営している「京都府後期高齢者医療広域連合」の体制を強化し、事業をさらに充実させる必要があると考えるが、今後の高齢者の医療制度の充実にどのような姿勢で臨むのか。

### 【山田知事】

後期高齢者医療制度についてであります。昨年 12 月に公表された国の新しい案は、75 歳以上に限ってはありますが、構造的問題を抱える市町村国保を広域化して安定的な運営を目指すものとしております。

しかしながら、その中で、私は、高齢者が加入する医療保険というものを、今は、高齢者の皆さんだったらどういう形であっても同じ土俵できちっとやっていくというものをですね、もう一回、国保と被用者保険に分ける、つまり、保険料において、大変豊かなところと厳しいところに、もう一回高齢者を分割してしまうという制度は、世代内の公平性からいってどうなんだろうと思っております。もう一つは、国が現在と同程度の財政責任から一歩も踏み出そうとしていない。この二点が問題でありまして、こうした問題について、全国知事会を通じて強く求めているところであります。

少子高齢化が進む中、社会保障制度の運営に当たりましては、住民と向き合う地方の役割がますます重要となってまいります。私どもは、市町村と、広域調整や支援を担う都道府県がしっかりと「車の両輪」として、一体的に取り組めるように、高齢者の医療保険制度につきましても、一層、私たちは、京都府の役割というものを増していかなければならないと思っております。

このため、後期高齢者医療制度につきましても積極的に参画すべきと考えておりまして、その運営参加のあり方について、サービスを受けられる高齢者をはじめ、市町村や医療提供者など外部有識者による検討会を速やかに設置してご意見をお聞きするとともに、府議会にもお諮りしながら、検討を進めてまいりたいと考えております。